

ワイヤレスインターホン

DECT準拠方式^(※1)

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

保証書付

玄関子機：単3アルカリ乾電池×3本（市販品）仕様

親機／室内子機：専用ACアダプター（付属品）仕様

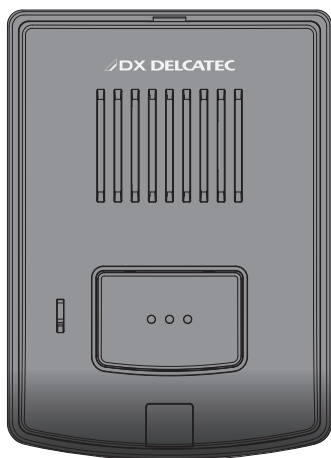
ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

この取扱説明書は

- ・玄関子機 親機セット DWP10A1
 - ・室内子機 親機セット DWP10A2
- 共通です。

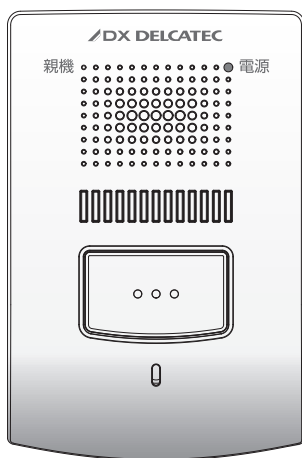
玄関子機 親機セット	DWP10A1
室内子機 親機セット	DWP10A2
増設用 玄関子機	DWG10A1
増設用 室内子機	DWH10A1

玄関子機



〈屋外用〉

親機／室内子機^(※2)



〈屋内用〉

(注) 親機の単品販売はいたしておりませんのでご了承ください。

親機が故障や交換を必要とする場合は、補修用部品として販売店を通じてご購入することができます。
(「DWP10A1親機」とご指定ください。)

(※1) DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications) はETSI (欧州電気通信標準化機構) の商標で、世界で広く普及している無線通信方式のひとつです。

(※2) イラストは「親機」です。

■製品の特長

- **配線不要**
配線工事がいらないので、買ってすぐに使用できます。
- **クリアな音声。盗聴が困難です。**
デジタル方式により、クリアな音声、個人情報の漏洩の心配がありません。
- **通話可能距離100m（見通し）**
通話可能距離は、いずれも見通しで100mです。
- **音と光でお知らせします**
親機と室内子機は大きな着信ランプ付きで、応答前に発光色の違いにより、呼出先が屋外／室内かが分ります。
- **増設により別の場所から来客対応、室内子機間の通話も可能**
2階等から訪問者に対応でき、別の部屋との通話も可能です。(子機は最大6台まで増設できます。)
- **取付自在**
壁面取付、またはスタンドによる据え置き^(※3)で使用できます。
- **混信やノイズに強い**
コードレス電話や無線LAN^(※4)との混信が無く、電子レンジによる雑音の心配もありません。

(※3) 据え置きできるのは親機と室内子機です。
(※4) 2.4GHz帯の電波を使用した機器の場合。

■付属品

〈玄関子機用〉

- ・皿木ネジ (4.1×16) ×2本
- ・皿小ネジ (M4×30) ×2本

〈親機用〉

- ・専用ACアダプター×1個
- ・壁面取付金具×1個^(※5)
- ・木ネジ (4.1×16) ×2本
- ・小ネジ (M4×30) ×2本

〈室内子機用〉

- ・専用ACアダプター×1個
- ・壁面取付金具×1個^(※5)
- ・木ネジ (4.1×16) ×2本
- ・小ネジ (M4×30) ×2本

(注) 玄関子機用の乾電池(単3アルカリ乾電池)は市販品をご購入ください。

(※5) 出荷時は本体にセットしています。

■安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

 警告	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの
---	--	---	--

	一般的な注意事項		水ぬれ禁止		接触禁止		指示を守る
	一般的な禁止事項		分解禁止		ぬれ手禁止		プラグを抜く

指定の電源で使用する



警告

- ◇親機および室内子機は必ず付属の専用ACアダプターを使用する。
他の機器のACアダプター等を使用すると火災や感電の原因となります。
- ◇付属の専用ACアダプターはAC100V(50/60Hz)コンセントを使用する。
100V以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。
- ◇玄関子機は必ず市販の単3アルカリ乾電池を使用する。
別の種類の電池を使用すると、液漏れや発熱の原因となります。
- ◇玄関子機の乾電池は入れる前に、＋の向きを確かめて正しく入れる。
向きを間違えると火災や感電、故障の原因となります。

次の場所に設置しない



警告

- ◇雨水などがかかる場所
親機と室内子機は、軒下であっても、台風等により雨水が内部に侵入し、故障の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所(親機と室内子機のみ)、熱器具の付近や高温になる場所、湯煙や湿気、ホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- ◇強度の不足する場所、不安定な場所
落ちたりして、けがの原因となります。
- ◇人の通行の妨げになる場所
ACアダプターのコードを引っ掛けたりして、けがや破損の原因となります。

正しい向きで使用する



警告

玄関子機は防雨構造ですが、防水構造ではありません。屋外で据え置きにしたり、上下逆さまにすると雨水が浸入して故障の原因となります。

異常があるときは、すぐに使用をやめる



警告

- 次のような異常時は、ACアダプターをコンセントから抜き、販売店・工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。
- ◇煙ががでる、変な臭いがする
 - ◇内部に水や昆虫、物が入った
 - ◇異音が出る
 - ◇ACアダプターのコードや、本体の外部が破損、劣化
- 火災、感電、けが、故障の原因となります。



警告

スピーカーを耳にあてない



呼出音や通話音による難聴等の原因となります。



警告

結露した状態で使用しない



故障の原因となります。
電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直してください。

下記のような場所や条件では、人体や医療機器等に影響を与える場合がありますので、取り付けないでください



- ◇病院等の使用を禁止された区域
- ◇医療用電気機器の近く（手術室、集中治療室、CCU等） ※CCU：冠状動脈疾患監視病室
- ◇自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近く
- ◇心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の位置
誤動作による事故の原因となることがあります。

距離が離れていたり、100m以内でも、間に次のような障害物が存在したり、環境により、電波が弱くなってブツブツ音、通話の途切れが起きて使えないことがあります



- 障害物
 - ・金属製のドアや雨戸（シャッター）
 - ・壁を何枚も隔てたところ
 - ・複層ガラスの窓
 - ・コンクリートやタン製製の壁
 - ・アルミ箔入りの断熱材が入った壁
- 環境
 - ・テレビ、ラジオ、パソコン、FAX、電波式送信機や受信機など電波を発生している家電製品やその他のOA機器が近くにある場所。
 - ・夜間のシャッターの戸締り。
 - ・テレビ、ラジオ、携帯端末の電波塔が近くにある場合。
 - ・近くでPHSを使用している場合。
 - ・各機器をそれぞれ別の階や家屋などで使う場合。



分解や改造はしない

親機、室内子機、玄関子機とも分解や改造は法律により禁止されていますので、絶対にしないでください。



雷が鳴り出したら本体やコードに触れない

感電の原因となります。



ぬれた手でさわらない

感電の原因となります。



お手入れの注意

ベンジンやアルコール、シンナー等
は使わず、乾いた布で乾拭きしてください。
溶けたり、変形、変色の原因となります。



<電波について>

この製品は1.895.616~1.902.528MHzを使用する無線設備です。

この製品には1.9GHz帯を使用する無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されます。（一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB-STD-T101」準拠）



この製品の使用周波数に関するご注意

- この製品の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。この製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、この製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、この製品のACアダプターおよび乾電池を抜いて、ご購入店、弊社カスタマーセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置等）についてご相談ください。
- この製品をCSデジタル放送を受信している環境で使用する場合、CSデジタル放送のアンテナ伝送路にこの製品の電波が混入（テレビ映像にモザイク状のノイズが発生）する可能性があります。この場合、シールド性の高い衛星放送対応の分波器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。

下記「■はじめに」を必ずお読みのうえ、



玄関子機 親機セット (DWP10A1) をご購入いただいた方 ⇒
室内子機 親機セット (DWP10A2) をご購入いただいた方 ⇒

DWP10A1
の説明

にお進みください。

DWP10A2
の説明

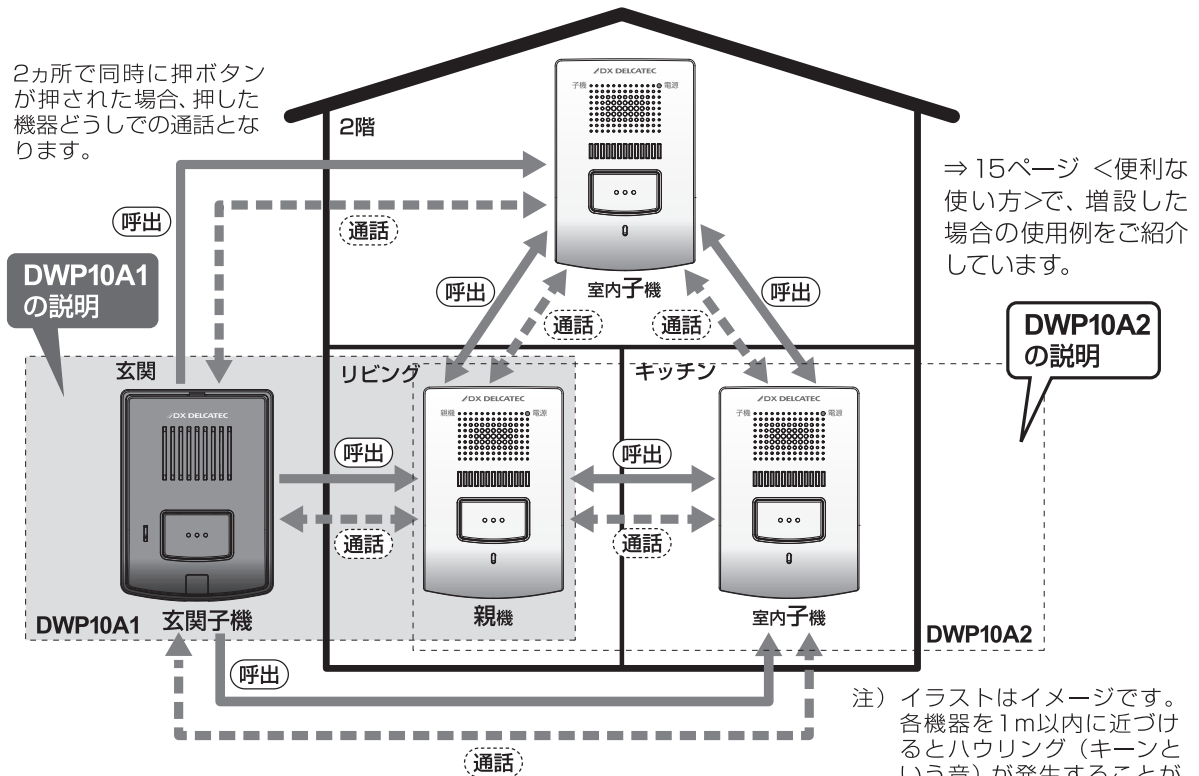
にお進みください。

■はじめに

1. 使用例（呼出と通話のイメージ）

この製品は、弊社HCシリーズ（HC-3、HC-7、HC-8）と異なる周波数帯の電波を使用していますので、HCシリーズに本製品を増設・登録して使用することはできません。（互換性がありません）

2カ所で同時に押ボタンが押された場合、押した機器どうしでの通話となります。



注）イラストはイメージです。各機器を1m以内に近づけるとハウリング（キーンという音）が発生することがあります。その場合、離して使用してください。

2. 知っていただきたいこと

- 通話は1対1で行います。（2台をこえる同時通話はできません）
- 1台の親機に対して最大6台までの子機が登録（増設）できます。
- 1台の子機に対して親機は1台しか登録できません。（別の親機グループには入れません）
- 室内子機を増設した場合、室内子機どうしの通話が可能です。
- 呼出は、すべて一斉呼出です。また、玄関子機を呼び出すことはできません。
- 親機と室内子機間、または室内子機どうしでの通話中に玄関子機の押ボタンが押されると、割り込みの呼出音が鳴り、通話を終了して玄関子機と通話することができます。⇒詳しくは15ページへ
- 室内子機の呼出音は2種類ありますので、音色を割り当てることで、いずれの室内子機からの呼び出しかが分ります。
- 全ての通話は、親機を中継して行いますので、親機の電源がOFFになったり、親機の電波がさえぎられると通話ができなくなりますのでご注意ください。

3. 快適な通話をたもつために……

必ず、使用する場所で実際に通話ができることを確認してから取り付けてください。

ポイント

室内子機は実際の取り付け場所で、電源ランプが緑色に点灯する場所に取り付けてください。通話できない場所や向きになっている場合は緑色に点滅しますので、移動または向きを変えて取り付けてください。

通話ができない場合は⇒16～18ページ「■故障と判断する前に」をご覧ください。

重要な
ポイントです



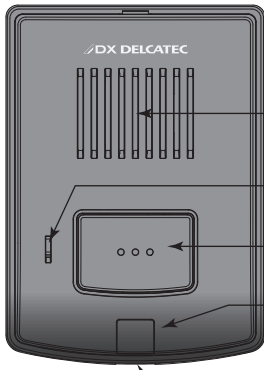
■各部の名称とはたらき

1. 玄関子機

DWP10A1
の説明

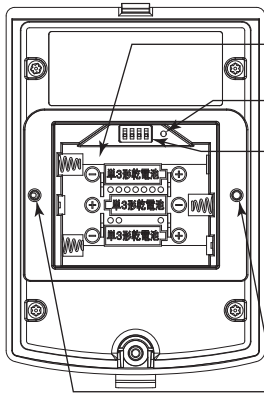
DWP10A2 (室内子機-親機セット) を使用される方は
6ページの「2.親機/室内子機」へ進んでください。

〈オモテ面〉



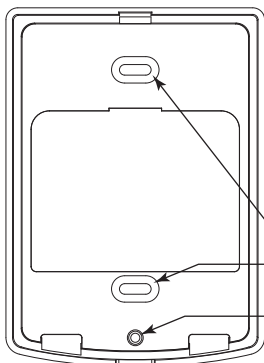
- スピーカー：呼出確認音・音声を出力します。
- マイク：この部分に向かって話します。
- 呼出ボタン：呼び出すときに押します。(室内子機を増設している場合は、親機はもちろん室内子機も同時に呼び出せます)
- フレーム固定ネジカバー：電池を交換するとき等、フレームを本体からはずすときや、本体に取り付けるときに、このカバーを開けて、固定ネジを回します。
- 下からコインやφドライバーを差し込み軽く上げると開きます。

〈ウラ面〉



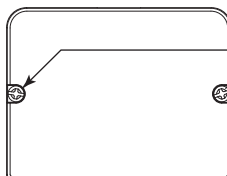
- 電池ケース：市販の単3アルカリ乾電池×3本を入れます。
- 受信LED：通話ができない状態（通信エラー）のとき点滅します。
- セレクトスイッチNo.1~4
- セレクトスイッチ(拡大)
- 通話音量設定 (大、中、小、最小) ⇒13ページ参照
- 呼出音選択(①、②) ⇒13ページ参照
- 登録削除 (初期化) ⇒12ページ参照
- 電池ケースフタ取付ネジ穴：電池ケースフタの取付ネジを挿入して取り付けます。

〈取付フレーム〉



- 固定用ネジ挿入穴：付属のネジを通して壁面等に固定します。⇒7ページ参照
- フレーム取付用ネジ穴：本体のフレーム固定ネジを挿入します。⇒7ページ参照

〈電池ケースフタ〉

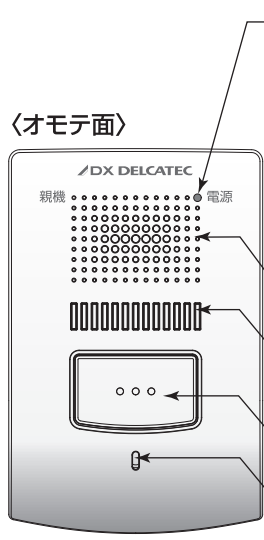


- 電池ケースフタ取付ネジ：電池ケースフタを本体からはずすときや本体に取り付けるときにドライバーを使用して回します。

2. 親機／室内子機

DWP10A1
の説明

DWP10A2
の説明



※イラストは親機の場合です。

電源ランプ：電源が供給されているときに緑色に点灯します。
室内子機は自動応答モードのとき赤色に点灯します。

異常が発生すると、下記のように電源ランプが点滅してお知らせします。

電源ランプの点滅状態	原因と参照ページ
親機	● 緑点滅 ▶ 0.5秒間隔：玄関子機からの電波が届いていない →16ページのF ▶ 1秒間隔：子機が登録できていない →12ページ
	● 赤点滅 ：玄関子機の電池切れ →9ページ
室内子機	● 緑点滅 ▶ 親機からの電波が届いていない →17ページのF ▶ 親機に登録できていない →12ページ

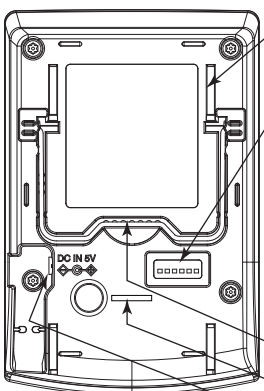
スピーカー：呼出確認音・音声を出力します。

呼出・通話ランプ：呼出の応答待ち中に点滅し、呼出中および通話中に点灯します。
(玄関子機からの呼出→緑色、室内子機からの呼出→青色)

押ボタン：親機や他の子機を呼び出すとき、および呼出に応答するときに押します。

マイク：この部分に向かって話します。

〈ウラ面〉



取付金具挿入穴：壁面取付金具のフック部分に挿入します。(計4か所)

セレクトスイッチNo.1～6：下記設定をします。

• 通話・呼出音量設定
⇒14ページ参照

• 呼出音選択(①、②)
⇒14ページ参照

セレクトスイッチ(拡大)



• 登録削除(初期化) ⇒12ページ参照

• 自動応答(注1)(有無) ⇒14ページ参照

• 警告音の設定(注2)(有無) ⇒14ページ参照

• 呼出・通話ランプ(呼出LED)の
点灯/消灯の設定 ⇒14ページ参照

スタンド：引き出して机の上に置いて使用します。

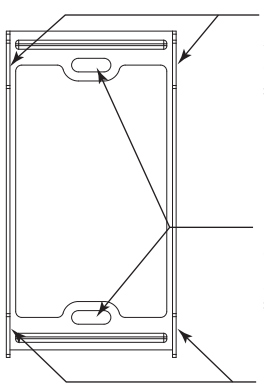
コイン穴：金具を取りはずす時に使います。

DCジャック：付属の専用ACアダプターのプラグを奥までしっかり差し込みます。

(注1) 自動応答は室内子機だけの機能です。

(注2) 警告音の設定は親機だけの機能です。

〈壁面取付金具〉

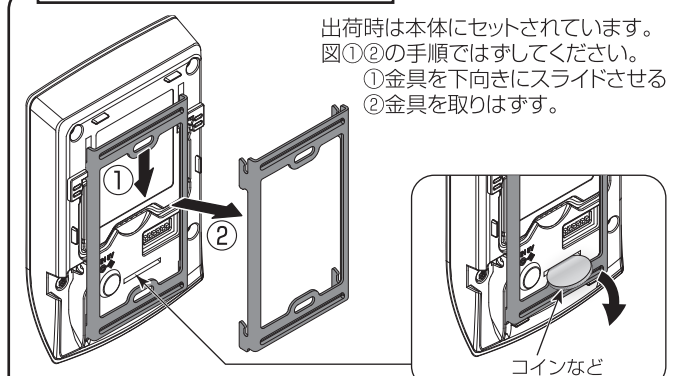


フック：
本体の取付金具挿入穴に
挿入します。
⇒8ページ参照

固定用ネジ挿入穴：
付属のネジを通して
壁面等に固定します。
⇒8ページ参照

フック：
本体の取付金具挿入穴に
挿入します。

壁面取付金具のとりはずし方法



出荷時は本体にセットされています。

図①②の手順ではずしてください。

①金具を下向きにスライドさせる

②金具を取りはずす。

コインなど

図のようにコインなどを使用することで簡単に金具が取りはずせます。

- 電源に関する説明については……9ページ
- セレクトスイッチに関する説明については……13～14ページ

■取付方法

注意

- (1)金網、鉄筋および鉄骨など埋め込まれている壁面・柱や金属製の扉には取り付けないでください。
- (2)玄関子機、室内子機と親機の通話可能距離は、見通しで約100mです。ただし、最大距離ですので取り付け前に必ず、その場所で子機と親機間で呼出・通話ができることを確認してください。(取付環境により距離が短くなる場合があります)
- (3)上下逆には取り付けないでください。雨水が浸入して故障の原因となります。

1. 玄関子機

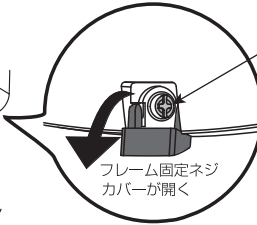
DWP10A1 の説明

- DWP10A2を使用される方は8ページの「親機／室内子機」へ進んでください。

(1)取付フレームのはずし方

右図のように、コインまたは⊕ドライバーを本体下の穴に差し込んで、矢印の向きに起こすと、フレーム固定ネジカバーが開きます。

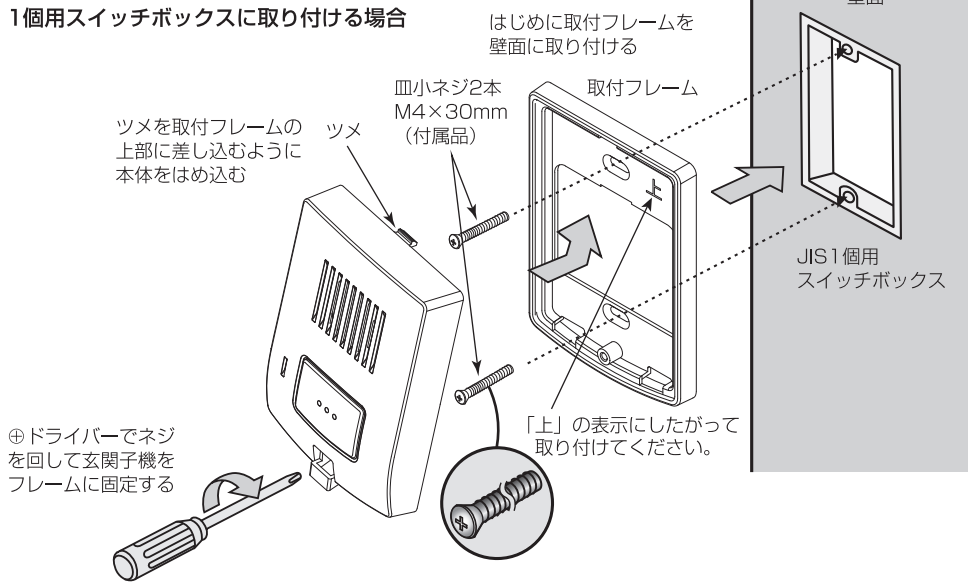
取付フレーム
コイン



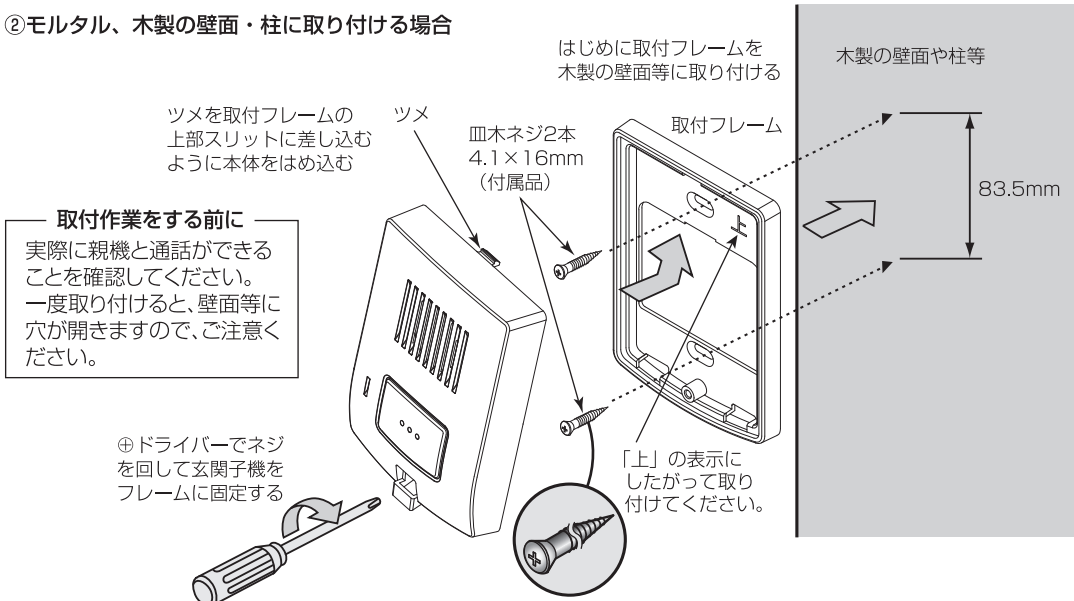
このネジを⊕ドライバーでゆるめて、取付フレームから玄関子機本体をはずしてください。

(2)玄関子機の取り付け方

①JIS 1個用スイッチボックスに取り付ける場合



②モルタル、木製の壁面・柱に取り付ける場合



取付作業をする前に
実際に親機と通話ができることを確認してください。一度取り付けると、壁面等に穴が開きますので、ご注意ください。

安全上のご注意

はじめに

各部の名称とほだすま

取付方法

使用方法

故障と判断するまえに

仕様

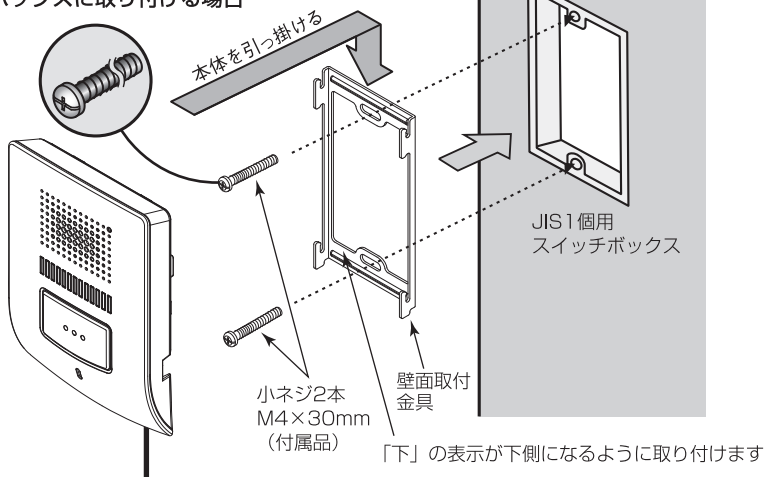
2. 親機／室内子機

DWP10A1
の説明DWP10A2
の説明

(1) 壁面取付金具と本体の取り付け方

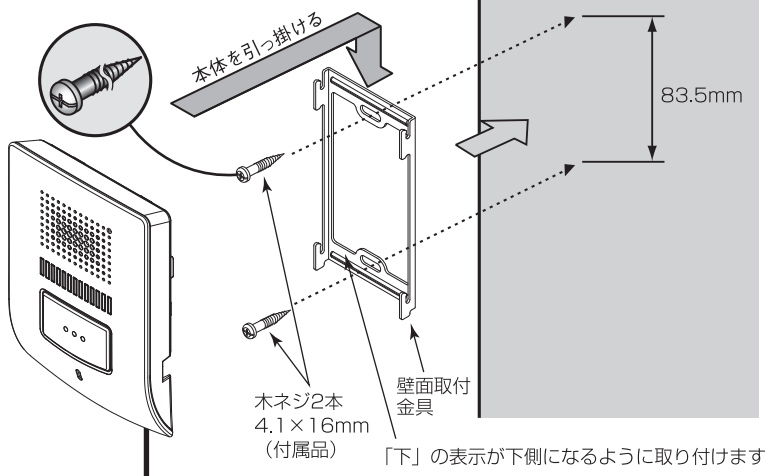
① JIS 1個用スイッチボックスに取り付ける場合

※⊕ドライバー使用



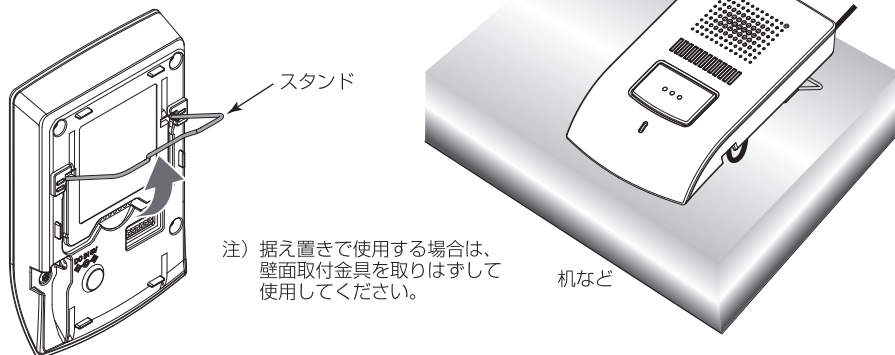
② モルタル、木製の壁面・柱に取り付ける場合

※⊕ドライバー使用



(2) 卓上への据え置き

- 本体のスタンドを引き出すと、傾けて据え置きできます。(スタンドを使用せずに据え置くこともできます)



⚠ 注意

- 取り付け場所の近くに電源コンセントがない場合は、電源コンセントの近くに移動するか、市販の延長コードを使用してください。ACアダプターのコードを切って継ぎ足すことはしないでください。⊕、⊖の短絡により、発熱、発煙や感電の原因となります。

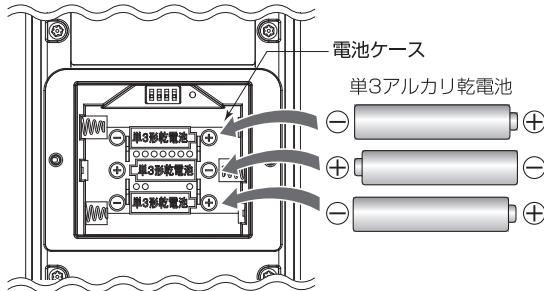
■使用方法

1. 電源

(1)電池の入れ方：玄関子機

フレームおよび電池ケースフタをはずして、電池ケースに新品の単3アルカリ乾電池（市販品）3本を⊕⊖確認のうえ、正しく入れてください。正しく入ると（3本で4.0V以上）、「ピー」という確認音が鳴ります。

〈玄関子機 ウラ面〉



玄関子機の電池を入れる前に、親機のACアダプターを接続してください。⇒このページの(3)



⚠注意

指定以外の電池は使用しないでください。マンガン乾電池やニッケル水素電池等の二次電池では正常に動作しません。また、古いものと新しいものの混用や、アルカリ乾電池と別の種類の乾電池との混用、および、電池切れ状態での長期放置はしないでください。液漏れや、発熱による故障の原因となります。

(2)玄関子機の電池切れ

DWP10A1の説明

玄関子機の電池容量が少なくなると（3本で3.6V以下）親機の電源ランプが赤色に点滅し、親機から「ピッピッピッ」という電池切れ通知音が30秒間鳴ります。（通話中の場合は通話を終了し、親機が「待機」状態に戻るときに通知音が鳴ります。）すぐに3本とも新品の単3アルカリ乾電池と交換してください。

また、複数設置された中から電池残量が少ない玄関子機を特定する場合、1台ずつ玄関子機から呼出を行い、約30秒間呼出音が鳴った後、もしくは通話終了後に親機通知音の有無を確認することで特定できます。

赤色の点滅は電池が交換されるまで点滅しつづけ、電池が正しく交換されると電源ランプは緑色の点灯に戻ります。

（ただし、電池切れの玄関子機が他にもある場合は、切れた電池がすべて交換されると、緑色の点灯に戻ります）

※電池寿命は、1回の呼出動作で応答して約10秒間の通話を1日5回する場合、約7か月です。

ただし、呼出回数が多い場合は、大幅に短くなります。

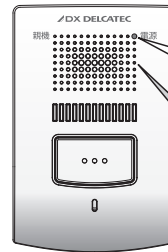
※親機のACアダプターは抜かないでください。

玄関子機は、親機との通信を定期的に行なっていますので、親機のACアダプターが抜けていると親機を1時間に1回探し続け、極端に電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

玄関子機



親機



赤色に点滅（交換されるまで）
ピッピッピッ（30秒間）

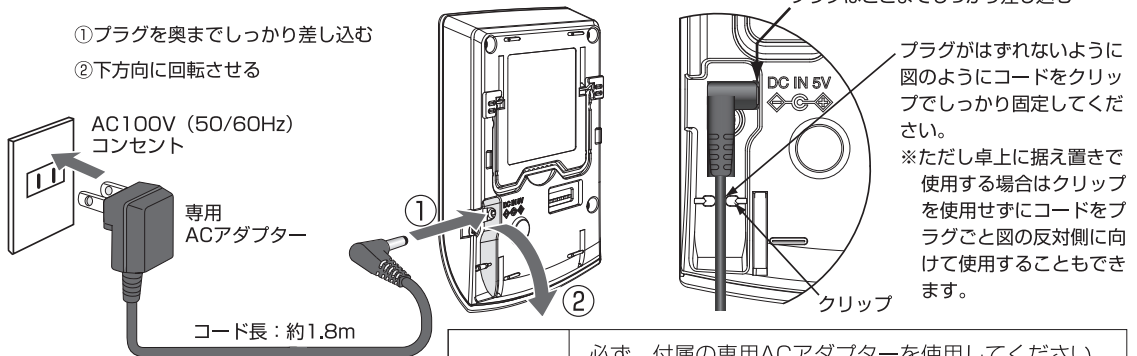
(3)専用ACアダプターの使用方法：親機／室内子機

DWP10A1の説明

DWP10A2の説明

付属の専用ACアダプターを使用してください。

図のように接続し、電源が正しく供給されると、電源ランプが緑色に点灯し「ピー」という確認音が鳴ります。電源ランプが緑色に点灯しない場合は、再度プラグを差し直してください。



⚠注意

必ず、付属の専用ACアダプターを使用してください。他の機器のACアダプターを接続すると、故障や感電等の原因となります。

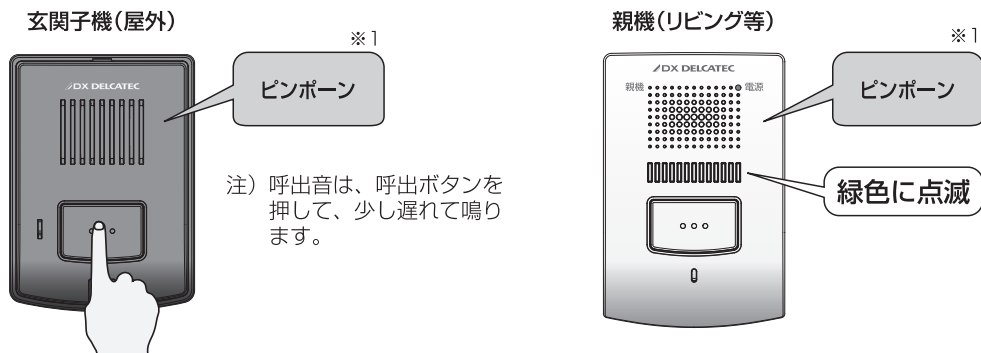
2. 操作方法

(1) 玄関子機と親機の呼出・通話

DWP10A1 の説明

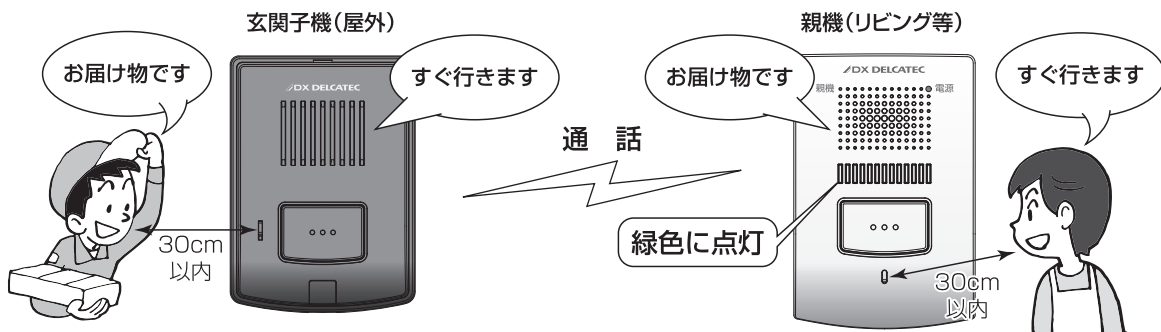
DWP10A2を使用される方は11ページの
「室内子機と親機の呼出、通話」へ進んでください。

- 注意) ●室内子機を増設すると、親機と室内子機を同時に呼び出します。
(先に呼出ボタンを押した方と玄関子機とが通話できます。)
- 親機から玄関子機を呼び出すことはできません。
 - 呼出ボタンは0.5秒以上押してください。

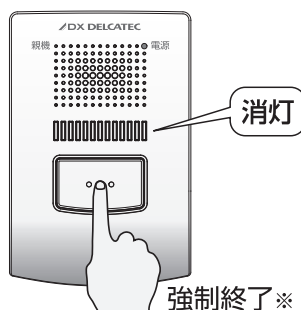


- ① 玄関子機の呼出ボタンを押す
呼出確認音 (ピンポーン) が鳴ります。
- ② 玄関子機からの呼出信号を受信すると、親機 (室内子機) より呼出音 (ピンポーン※1) が鳴り、呼出・通話ランプが緑色に点滅します。

※1 玄関子機のセレクトスイッチ3番で選択した音 (ピンポーンピンポーンまたはピンポーン) が鳴ります。



- ③ 点滅中に親機 (室内子機) の押ボタンを押すと、呼出音が鳴り止め、呼出・通話ランプが点滅から点灯に変わり、通話ができます。マイクより30cm以内で話してください。



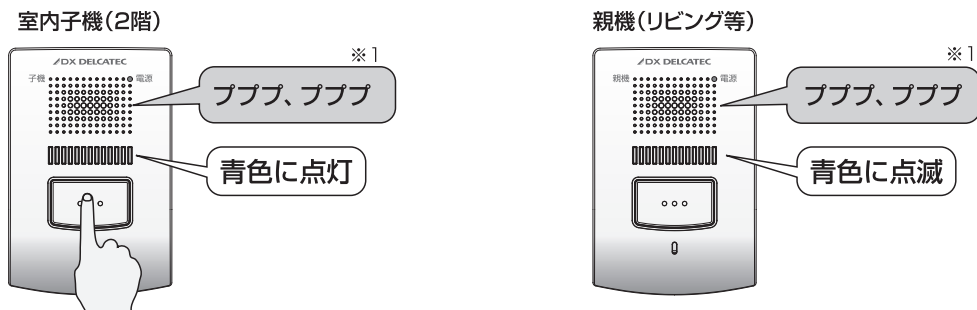
※通話が済んだら強制終了を
強制終了しないと約3分経つまで自動
停止しませんので、屋外に家中の音が
流れ続けます。通話が終わったら、
強制終了することをおすすめします。
(玄関子機の電池の節約にもなります)

- ④ 通話が終了しましたら、親機 (室内子機) の押しボタンを押すと**強制終了**となり、玄関子機および親機 (室内子機) は「待機」状態に戻ります。呼出・通話ランプも消灯します。
ただし、押しボタンを押さなくても通話は約3分間で自動停止し「待機」状態に戻ります。(自動停止の約15秒前に「ピピピ」とお知らせします)

(2)室内子機と親機との呼出・通話

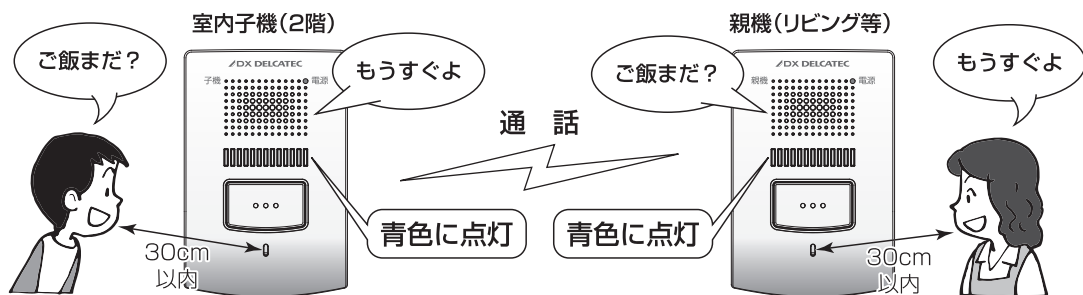
DWP10A2
の説明

注意) ● 下記説明は、室内子機から呼び出す場合の説明ですが、親機から室内子機を呼び出す場合も同様に行ないます。
● 押ボタンは0.5秒以上押してください。

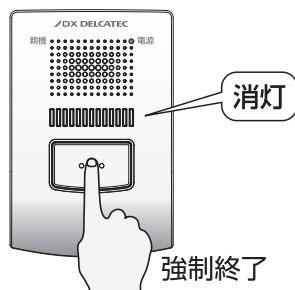


- ①室内子機の押ボタンを押す
呼出確認音（メロディー）が鳴り、呼出・通話ランプが青色に点灯します。
- ②室内子機からの呼出信号を受信すると、親機より呼出音（メロディー※1）が鳴り、呼出・通話ランプが青色に点滅します。

※1 室内子機（呼出側）のセレクトスイッチ3番で選択した呼出音が鳴ります。



- ③点滅中に親機の押ボタンを押すと、呼出音が鳴り止み、呼出・通話ランプが点滅から点灯に変わり、通話ができます。マイクより30cm以内で話してください。



- ④通話が終了しましたら、親機、または室内子機の押ボタンを押すと強制終了となり、室内子機および親機は「待機」状態に戻ります。呼出・通話ランプも消灯します。
なお、**通話時間は無制限**ですので、どちらかが押ボタンを押さないと通話は終了されません。

自動応答モードについて

このモードは室内子機だけの機能です。呼出に应答して、**押ボタンを押さなくても**、自動で通話に切り換ります。室内子機のセレクトスイッチのNo.5の設定により選択できます。（⇒14ページ参照）

- 通常応答モード…OFF（下側）：押ボタンを押して应答するモード⇒室内子機の電源ランプが緑色に点灯します。
- 自動応答モード…ON（上側）：自動で通話のはじまるモード⇒室内子機が自動応答中に赤色に点灯します。

<重要>

⚠ 注意

- 自動応答モードに設定する室内子機は**1台のみ**で使用をお願いします
複数台でこの設定にしますと、自動応答モードにした各室内子機からの応答信号が、同時に親機に戻ってきますので相互に干渉してつながることがあります。また、**つながった場合でも、呼び出した室内子機ではないことや、自動応答モードでない室内子機とは、このモードを解除するまでつながりません。**
- 呼出音は鳴りません
呼び出した方の声が室内子機から突然でますので、お年寄りや心臓の弱い方には**大声で呼びかけないよう注意**してください。

3. 子機・親機の登録

DWP10A1
の説明DWP10A2
の説明このように
必要です

- 子機を増設するとき
- 登録削除(4.登録削除(初期化)について)後、再登録するとき

セット品をご購入の場合は、出荷時に登録作業を行なっていますので、登録を行なう必要はありません。

親機に室内子機または玄関子機を増設する場合は、最初に以下の手順で登録を行なってください。

※登録作業が済んでいない子機は使用できません。

※1つの親機に最大6台まで子機を登録できます。(7台以上登録しようするとエラー音が鳴って登録できません)

※複数の子機を登録する場合でも、登録作業は1台ずつ行なってください。

準備	親機と子機を手の届く範囲に準備します。ウラ面のセレクトスイッチを玄関子機は「4」、親機と室内子機は「6」を下側にします。	セレクト スイッチ の設定	玄関子機 ↓下にする 4	親機 ↓下にする 室内子機 6
----	--	---------------------	---------------	---------------------

① 親機、登録する子機の電源を入れる

↓

② 「ピー」と鳴るまで10秒以上押す

電源ランプが赤と緑で交互に点滅

指をはなす

↓

③ 「ピー」と鳴るまで10秒以上押す

電源ランプが赤と緑で交互に点滅(玄関子機の場合は点滅しません)

指をはなす

④ 自動で登録作業開始

「ピー」と鳴れば登録完了

- ・ 「ピッピッピ」と鳴った場合
 - ・ 子機を続けて登録する場合
- ⇒②から操作

① 親機と子機に電源を供給します。

② 親機の押ボタンを「ピー」と音が鳴るまで押し続けます(10秒以上)。

電源ランプが赤と緑で交互に点滅します。

- 登録作業を中断するときは、もう一度押ボタンを押します。
- 登録作業は1分間でキャンセルされますので、その場合は②からやりなおしてください。

③ 子機の押ボタンを「ピー」と音が鳴るまで押し続けます(10秒以上)。

【室内子機の場合】電源ランプが赤と緑で交互に点滅します。

【玄関子機の場合】受信LED(電池ケース内)が点滅から消灯になります。

④ 自動で登録作業が始まります。

登録作業が完了すると「ピー」と音が鳴ります。

【室内子機の場合】電源ランプが一旦消灯し、通話可能になるまで電源ランプが点滅します。

【玄関子機の場合】通話可能になるまで受信LEDが点滅し続けます。

- 「ピッピッピ」とエラー音が鳴った場合は登録作業が正常に完了しておりませんので、②からやりなおしてください。

※電源が切れても登録情報は消えません。

※親機に別の親機を登録することはできません。

※万一登録できない場合は、次の「4.登録削除(初期化)について」を行なった後、全ての子機を再登録してください。

4. 登録削除(初期化)について

DWP10A1
の説明DWP10A2
の説明このように
必要です

- 別の親機に再登録したいとき
- 子機を交換する場合で、すでに最大登録台数の6台が登録されているとき
- 親機が複数あり、各グループの組み合わせを変更したいとき
- 使用しない子機の登録を削除したいとき

親機、室内子機または玄関子機の登録情報を削除(初期化)するには、以下の手順で操作を行なってください。

注意) 親機の場合、すでに登録している全ての子機の情報が削除されます。(特定の子機を選んで削除することはできません)

準備	親機と子機を手の届く範囲に準備します。ウラ面のセレクトスイッチを玄関子機は「4」、親機と室内子機は「6」を上側にします。	セレクト スイッチ の設定	玄関子機 ↑上にする 4	親機 ↑上にする 室内子機 6
----	--	---------------------	---------------	---------------------

登録を削除する機器

① 押ボタンを押しながら電源を入れる

親機/室内子機は、電源ランプが緑色に点滅
玄関子機は、受信LED(電池ケース内)が赤色に点滅

② 10秒以上押し続ける

「ピー」と鳴れば登録削除(初期化)を完了します
(親機の場合はもう1回「ピー」となります)

③ セレクトスイッチを下に戻す

① 押ボタンを押しながら電源を供給します。

【親機・室内子機の場合】電源ランプが緑色に点滅します。

【玄関子機の場合】受信LED(電池ケース内)が赤色に点滅します。

② そのまま、押ボタンを10秒以上押し続けます。

自動で登録削除(初期化)作業が始まります。

「ピー」と鳴れば登録削除(初期化)を完了します。
(親機の場合はもう1回「ピー」となります)

【親機・室内子機の場合】電源ランプは緑色点滅のままです。

【玄関子機の場合】受信LEDは赤色点滅のままです。

③ 上記「準備」で操作したセレクトスイッチを下に戻します。

※再びシステムを使用できるようにするには登録が必要です。

(登録のしかたは「3.子機・親機の登録」参照)

※別の親機に交換する場合、必ず子機も初期化して親機を登録しなおしてください。(この操作をしないで使用できません)

5. セレクトスイッチの設定

スイッチの切換操作は、先の細いマイナスドライバー等を使用してください。

注意) 無理に操作すると破損するおそれがあります。

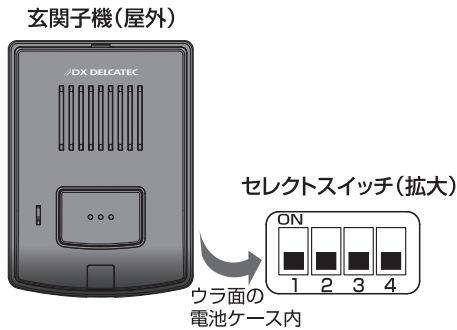
5-(1) 玄関子機の機能設定一覧

DWP10A1 の説明

※工場出荷時のスイッチ設定は、すべて下側です。

① 通話音量の設定 (セレクトスイッチ1、2)

スイッチを図の位置にすることで、大、中、小、最小の4段階に切り換えることができます。設置する周囲の環境に合わせて切り換えてください。(玄関子機の呼出音量は変えられません)



	音量	セレクトスイッチの設定				
通話音量 (呼出音量固定)	大	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>下</td> <td>下</td> </tr> </table>	1	2	下	下
	1	2	下	下		
	中	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>下</td> <td>上</td> </tr> </table>	1	2	下	上
	1	2	下	上		
小	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>上</td> <td>下</td> </tr> </table>	1	2	上	下	
1	2	上	下			
最小	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>上</td> <td>上</td> </tr> </table>	1	2	上	上	
1	2	上	上			

(注) 鳴っている途中で切り換えても音量は変わりません。

② 呼出音の選択 (セレクトスイッチ3)

スイッチを図の位置にすることで、2種類の呼出音から1つを選択できます。

	音色	セレクトスイッチの設定		
呼出音	① ピンポーン	<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>下</td> </tr> </table>	3	下
	3	下		
② ピンポン・ピンポーン	<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>上</td> </tr> </table>	3	上	
3	上			

③ 登録の削除 (セレクトスイッチ4)

登録している親機の情報削除されます。別の親機に登録する場合に使用します。(ただし登録できる親機は1台だけです) (⇒詳しくは12ページ参照)

	使用時 / 登録削除	セレクトスイッチの設定		
登録削除	使用時	<table border="1"> <tr> <td>4</td> <td>下</td> </tr> </table>	4	下
	4	下		
登録削除	<table border="1"> <tr> <td>4</td> <td>上</td> </tr> </table>	4	上	
4	上			

※このセレクトスイッチを「上側」にするだけでは登録は削除されません。

(注) 登録削除されたらスイッチを元(下側)に戻してください。

5-(2) 親機/室内子機の機能設定一覧

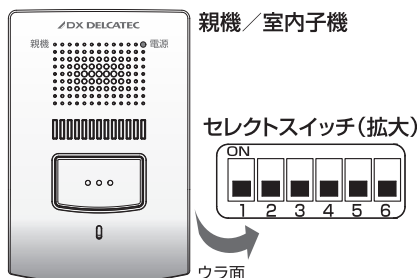
DWP10A1
の説明

DWP10A2
の説明

※工場出荷時のスイッチ設定は、すべて下側です。

①通話音量・呼出音量の設定
(セレクトスイッチ1、2)

スイッチを図の位置にすることで、4段階の音量に切り換えることができます。設置する周囲の環境に合わせて切り換えてください。



	音量	セレクトスイッチの設定		
音通話・呼出	大	1	2	下 下
	中	1	2	下 上
	小	1	2	上 下
通話音量	最小	1	2	上 上
呼出音量	OFF	1	2	上 上

(注) 鳴っている途中で切り換えても音量は変わりません。

(注) 呼出音量と呼出LEDの設定を両方とも「OFF」や「消灯」に設定すると、呼び出されていることが分からなくなりますのでご注意ください。

②呼出音の選択 (セレクトスイッチ3)

スイッチを図の位置にすることで、2種類の呼出音から1つを選択できます。(呼び出す相手側の呼出音も変更されます)

	音色	セレクトスイッチの設定	
呼出音	①プププ プププ	3	下
	②ジャン、ジャン、ジャン、ジャン	3	上

③呼出・通話ランプ (呼出LED) の点灯/消灯の設定
(セレクトスイッチ4)

スイッチを図の位置にすることで、呼出LEDの点灯または、消灯を切り換えることができます。

	点灯/消灯	セレクトスイッチの設定	
呼出LED	点灯	4	下
	消灯※1	4	上

(※1) 自動応答時消灯となります。

④警告音のON/OFF設定
(親機のみ設定できます：セレクトスイッチ5)

親機のみ

電池切れ通知音や、待機時の玄関子機との通信不可の警告音を、親機から鳴らす、または鳴らさないの設定ができます。

	無/有	セレクトスイッチの設定	
警告音	有	5	下
	無	5	上

⑤自動応答の設定
(室内子機のみ設定できます：セレクトスイッチ5)

室内子機のみ

スイッチの位置により、自動応答の設定ができます。親機または他の室内子機からの呼出に対して、室内子機は押ボタンを押さなくても自動で応答し、通話できるようになります。(呼出音は鳴りません)手が離せない方への呼出に便利です。

	無/有	セレクトスイッチの設定	
自動応答	無	5	下
	有※2	5	上

(※2) 自動応答モードにしていない室内子機は、一瞬、呼出音が鳴ることがあります。

(注) 玄関子機からの呼出には自動応答しません。

△注意

自動応答モードに設定する室内子機は1台のみでご利用をお願いします
複数台この設定をすると、呼び出したい室内子機とつながらないことや、自動応答モードでない室内子機とは、モードを解除するまでつながりません。

⑥登録の削除 (セレクトスイッチ6)

親機の場合、すでに登録している全ての子機の登録が削除されます(選択削除はできません)。万一、使用している子機が故障した場合等、すでに6台の子機が登録されていると7台目以降は登録できませんので、この操作を行なって一度全ての子機の登録を削除して、全ての子機を再登録してください。
室内子機の場合、登録している親機の情報も削除されます。
(⇒詳しくは12ページ参照)

	使用時/登録削除	セレクトスイッチの設定	
登録削除 注：全件削除 されます	使用時	6	下
	登録削除	6	上

(注) このセレクトスイッチを「上側」にするだけでは登録は削除されません。

(注) 登録削除されたらスイッチを元(下側)に戻してください。

<便利な使い方(増設した場合)>

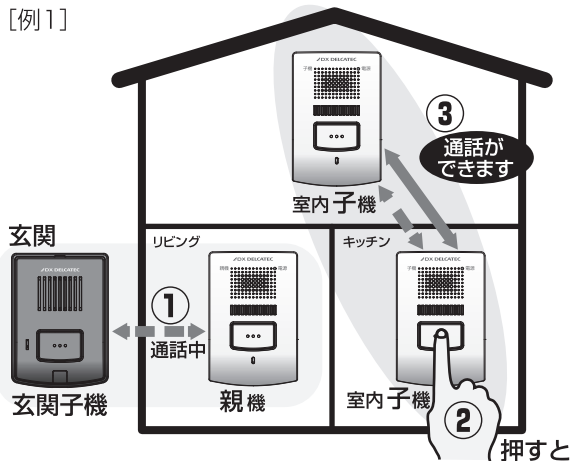
イラスト中の①②③...は、
動作の流れを示しています。



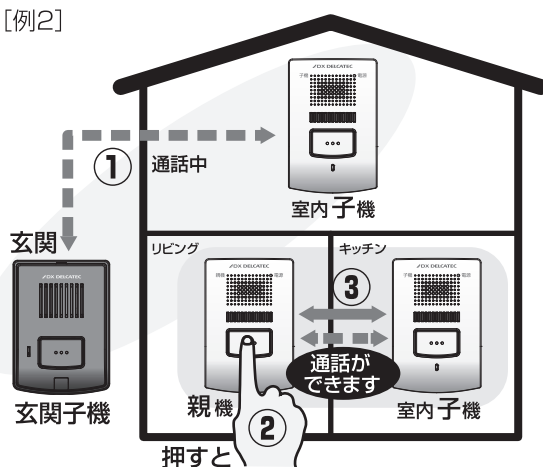
下記の全ての通話は、親機を中継して行いますので、親機の電源がOFFになったり、親機の電波がさえぎられると、通話ができなくなりますので、ご注意ください。

玄関子機と通話中、残りの親機や室内子機間で通話ができます。

[例1]



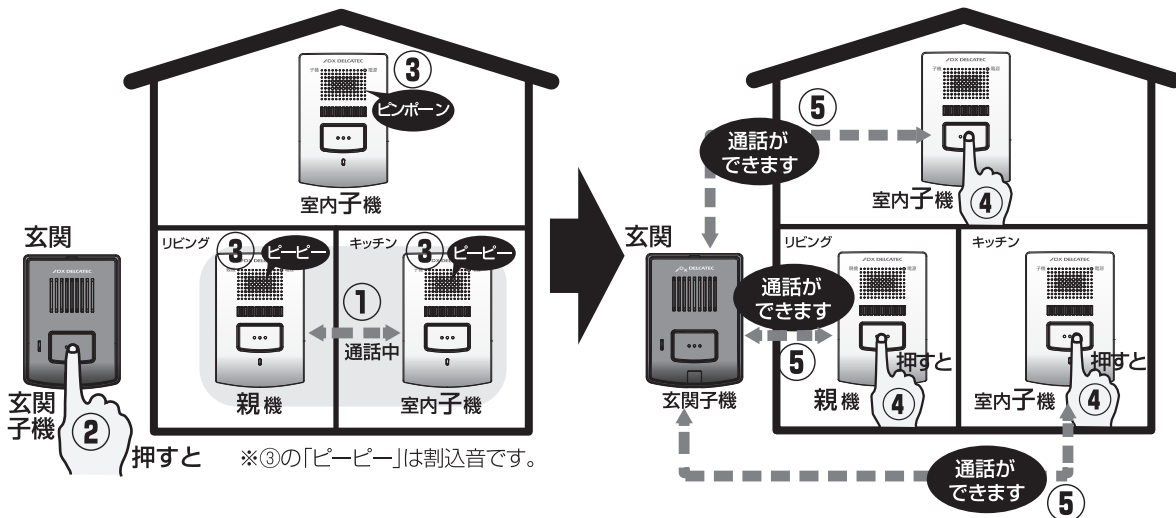
[例2]



ご注意

上記例のように、玄関子機を含めた通話の場合、同時に最大2系統で通話できます。ただし、室内子機を3台以上増設しても、室内子機間および親機と室内子機間による2系統の通話はできません。(あらかじめ玄関子機には、優先的に1系統が割り当てられています)

室内間で通話中、玄関子機が押されると割込音が鳴り、玄関子機との通話に切り換えることができます。



※③の「ピーピー」は割込音です。

※⑤の通話は④で一番早く押した所が通話できます。

ご注意

上記の場合、玄関子機が押されても、室内間でそのまま通話を継続することができます。ただし、割込音が鳴っている間に、室内間の通話を強制終了しようと押ボタンを押すと、玄関子機とつながりますのでご注意ください。(玄関子機と通話せずに終了させたい場合は、割込音が鳴り止んでから押ボタンを押して強制終了させてください)

■故障と判断するまえに

このシステムの全ての通話は、親機を中継して行いますので、まずは親機からチェックしてください。

親機

動作しない

相手の声が小さい またはエコーや反響音がある

こちらの声が相手 に聞こえにくい

呼出音量 が小さい

- | | | |
|--|---|--|
| A 停電になっていませんか。 | ⇒ | 復旧するまで待ってください。 |
| B ACアダプターがコンセントからはずれていませんか。 | ⇒ | ACアダプターをコンセントに差し込んでください。 |
| C ACアダプターのプラグが親機から抜けていませんか。 | ⇒ | 親機にしっかり差し込んでください。
⇒9ページの1.(3) |
| D ACアダプターのプラグを親機から抜きもう一度入れても同じですか。 | ⇒ | 親機から一度抜いてしばらくしてからもう一度入れてください。 |
| E 室内子機および親機の呼出音量をOFF、呼出LEDを消灯していませんか。 | ⇒ | 呼出音量と呼出LEDの設定を切り換えてください。⇒14ページの5-(2)①③ |
| F 電源ランプ(緑)が点滅していませんか。
(速い点滅時は同時に「ビッピッピ」と約30秒間鳴ります) | ⇒ | (遅い点滅:約1秒間隔)子機が登録されていないことが考えられます。お手数ですが、一旦登録を削除し親機、子機ともに再登録してください。⇒12ページ
(速い点滅:約0.5秒間隔)玄関子機の電波が届いていない可能性があります。玄関子機の呼出ボタンを押して玄関子機からエラー音が「ビッピッピ」と鳴らないか確認してください。 |
| G 電源ランプが消灯していませんか。 | ⇒ | 上記A～Fを確認しても点灯しない場合は故障の可能性があります。⇒ご購入店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。 |
| H 通話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか。 | ⇒ | 「中」または「大」にしてください。
⇒14ページの5-(2)① |
| I 同時に話していませんか。 | ⇒ | 相手が話し終えてから話してください。
※通話は音の大きい方が優先されます。 |
| J 親機の周囲の音が大きくありませんか。 | ⇒ | 周囲の音を小さくしてください。 |
| K 本体を振動させていませんか。 | ⇒ | 振動させないでください。振動がマイクに伝わりこちらの音が優先されます。 |
| L 異物(ホコリ、雪や雨水など)で子機のマイク穴をふさいでいませんか。 | ⇒ | 子機のマイクの異物を取り除いてください。 |
| M 相手の周囲の音が大きくありませんか。 | ⇒ | 相手の周囲の音を小さくしてください。 |
| N 親機のマイクから離れすぎていませんか。 | ⇒ | 親機に向かって(30cm以内)話してください。 |
| O 呼出音量の設定が「OFF」または「小」になっていませんか。 | ⇒ | 「中」または「大」にしてください。
⇒14ページの5-(2)① |

室内子機

動作しない

- A** 停電になっていませんか。 → 復旧するのを待ってください。
- B** ACアダプターがコンセントから外れていませんか。 → ACアダプターをコンセントに差し込んでください。
- C** ACアダプターのプラグが室内子機から抜けていませんか。 → プラグを室内子機にしっかり差し込んでください。⇒9ページの1.(3)
- D** ACアダプターのプラグを親機から抜きもう一度入れても同じですか。 → 室内子機からプラグを一度抜いて、しばらくしてからもう一度入れてください。
- E** 室内子機および親機の呼出音量をOFF、呼出LEDを消灯していませんか。 → 呼出音量と呼出LEDの設定を切り換えてください。⇒14ページの5-(2)①③
- F** 電源ランプが点滅していませんか。(押ボタンを押すと「ピッピッ」と鳴る。) → 親機に電波が届いていません。使用する場所や向きを変えてください。⇒4ページの2.~3. 親機に未登録の可能性があります。⇒12ページ
- G** 電源ランプが消灯していませんか。 → 上記A~Fを確認しても点灯しない場合は故障の可能性があります。⇒ご購入店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。
- H** 他の子機と通話中になっていませんか。 → 終了するまで待ってください。
- I** 親機の電源ランプは点灯していますか。 → 親機の電源を確認してください。⇒16ページのB~G
- J** 親機に登録していますか。(押ボタンを押すと「ピッピッ」と鳴る。) → 増設 子機の場合、登録作業が必要です。**親機・子機ともに登録してください。**⇒12ページ
- K** 通話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか。 → 「中」または「大」にしてください。⇒14ページの5-(2)①
- L** 同時に話していませんか。 → 相手が話し終えてから話してください。
※通話は音の大きい方が優先されます。
- M** 室内子機の周囲の音が大きくありませんか。 → 周囲の音を小さくしてください。
- N** 相手のマイク穴をふさいでいませんか。 → マイク穴をふさがないでください。
- O** 本体を振動させていませんか。 → 振動させないでください。振動がマイクに伝わりこちらの音が優先されます。
- P** マイク穴に異物(ホコリ、雪や雨水など)がつまっていますか。 → 異物を取り除いてください。
- Q** 相手の周囲の音が大きくありませんか。 → 相手の周囲の音を小さくしてください。
- R** 室内子機のマイクから離れすぎていませんか。 → 室内子機に向かって(30cm以内)話してください。
- S** 呼出音量の設定が「OFF」または「小」になっていませんか。 → 「中」または「大」にしてください。⇒14ページ

親機が動作しない

相手の声が小さい またはエコーや反響音がる

こちらが相手に聞こえない

呼出音が小さい

玄関子機

動作しない

親機が受信しない

相手の声が小さい
またはエコーや反響音がする

こちらの声が
相手に聞こえにくい

- A** 電池が入っていますか。 → 電池を入れてください。
- B** 電池の⊕、⊖を間違えていませんか。 → 正しく入れてください。⇒9ページの1.(1)
- C** 親機の電源ランプが赤色に点滅していませんか。 → 赤色に点滅すると電池容量が少なくなっていますので、3本とも新品に交換してください。⇒9ページの1.(2)
- D** 親機の電源は入っていますか。 → 親機の電源ランプを確認してください。⇒16ページのB～G
- E** 親機に登録していますか。 → 玄関子機を増設した場合、親機に登録が必要です。⇒12ページの3.
- F** 呼出ボタンを押すとピッピッと鳴る。 → 電波が届いていない可能性があります。設置場所を変えてみてください。
- G** 玄関子機の電池ケース内の受信LEDが赤く点滅している。 → 一旦電池を抜いて、しばらくして入れ直し、玄関子機を親機の近くで呼出ボタンを押しても受信LEDが点滅している場合は、故障の可能性があります。⇒弊社カスタマーセンターにご相談ください。
- H** 通話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか。 → 「中」または「大」にしてください。⇒13ページの5-(1)①
- I** 同時に話していませんか。 → 相手が話し終えてから話してください。
※通話は音の大きい方が優先されます。
- J** 玄関子機の周囲の音が大きくありませんか。 → 親機または室内子機は、機器に向かって(30cm以内)話してください。
- K** 玄関子機のマイク穴に異物(クモの巣や、雪、雨水など)がつまっていますか。 → 異物を取り除いてください。
- L** 本体に雨粒が激しく当たっていませんか。 → 雨粒の振動がマイクに伝わると玄関子機からの音が優先されます。設置方法を変えてください。
- M** 親機や室内子機のマイク穴をふさいでいませんか。 → マイク穴をふさがないでください。
- N** 相手の周囲の音が大きくありませんか。 → 相手の周囲の音を小さくしてください。
- O** マイクから離れすぎていませんか。 → 玄関子機に向かって(30cm以内)話してください。

■仕様

〈電気性能規格〉

品名	親機	室内子機	玄関子機
型番	— (注1)	DWH10A1	DWG10A1
標準規格	ARIB STD-T101準拠		
周波数 (MHz)	1,895.616~1,902.528(1.728MHz step)		
通信方式	時分割多元接続方式		
通話可能距離 (m)	100(見通し)		
増設子機の登録台数	親機に対して最大6台(室内子機+玄関子機)登録可		
防水性能	—	—	IPX3(防雨形)
電源	専用ACアダプター 入力:AC100V(50Hz/60Hz) 出力:DC5V、0.5A		単3アルカリ乾電池 3本(1.5V×3=4.5V)(※1)
消費電力 (W)	0.9(待機時) 1.1(通話時・無音)	0.1(待機時) 0.7(通話時・無音)	—
消費電流 (mA)	—	—	Q1 (待機時) 80 (通話時・無音)
電池寿命	—	—	約7ヶ月(※2)
使用温度範囲 (℃)	-10~+40		-10~+50
外形寸法 (mm)	135(高さ)×89(幅)×22(奥行)		136(高さ)×98(幅)×30(奥行)
質量 (g)	130(ACアダプターを除く)		190(乾電池を除く)
付属品	<ul style="list-style-type: none"> 専用ACアダプター(コード長1.8m) (UCL305-0505-JDXA-0004) × 1個 壁面取付金具 × 1個 木ネジ(4.1×16) × 2本 小ネジ(M4×30) × 2本 	<ul style="list-style-type: none"> 専用ACアダプター(コード長1.8m) (UCL305-0505-JDXA-0004) × 1個 壁面取付金具 × 1個 木ネジ(4.1×16) × 2本 小ネジ(M4×30) × 2本 	<ul style="list-style-type: none"> 皿木ネジ(4.1×16) × 2本 皿小ネジ(M4×30) × 2本

※1 乾電池は市販品です。

※2 約10秒間の通話を1日5回した場合です。

(注1) 補修用部品をご注文いただく際は「DWP10A1 親機」とご指定ください。

〈動作仕様〉

品名	親機	室内子機	玄関子機
型番	— (注1)	DWH10A1	DWG10A1
呼出	室内子機へ (玄関子機へは不可)	親機と室内子機(※3)へ (玄関子機へは不可)	親機と室内子機へ
通話時間	無制限(押ボタンを押すまで)		最大3分間
通話音量/呼出音量 (通話音量と呼出音量は連動)	通話 4段階(大/中/小/最小) 呼出 4段階(大/中/小/OFF)(※4)		通話 4段階(大/中/小/最小) 呼出 固定
呼出音	2種類から選択	2種類から選択	2種類から選択
呼出・通話ランプ(呼出LED)	ON/OFF切換	ON/OFF切換	—
自動応答	—	ON/OFF切換(※5)	—
警告音	ON/OFF切換	—	—
通信不可時の警告 (LEDと警告音)	—	有	有 (電池ケース内LEDのみ)
玄関子機の電池切れ通知 (LEDと通知音)	有	—	—

※3 室内子機を2台以上増設した場合です。

※4 自動応答設定をした室内子機は呼出音が鳴りません。

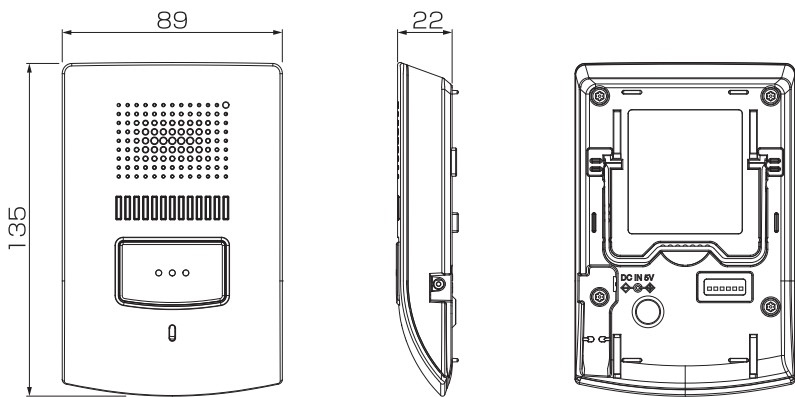
※5 玄関子機からは自動応答しません。

規格および仕様は改良により、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

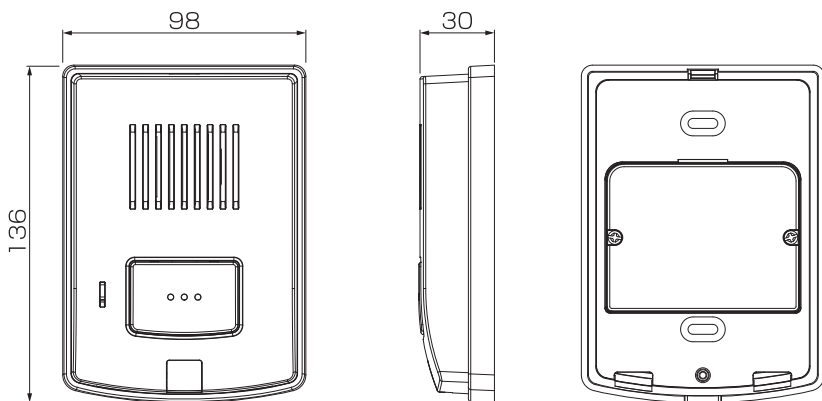
(注1) 補修用部品をご注文いただく際は「DWP10A1 親機」とご指定ください。

<外形寸法>

<親機/室内子機>



<玄関子機>



(単位：mm)

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

保証書

●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうこととお約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の取り付け場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑥本保証書を提示・添付されていない場合。
 - ⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

型番	
□ DWP10A1 □ DWP10A2	
ご住所・ご店名	
販売店	電話() -
お名前	ふりがな
お客様	ご住所
	電話()
	様

お買上年月日	保証期間	お買上日から
年 月 日		1 年間

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

カスタマーセンター

土・日・祝日もご利用ください!



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。
 ※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
 ※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1908)

DXアンテナ株式会社

受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)

ホームページアドレス

4895-8

一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

<https://www.dxantenna.co.jp/>